

令和3年度 静岡大学人文社会科学部
夜間主コース社会人入試試験問題

法 学 科 [小 論 文] SH

令和2年11月28日(土)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題冊子（この表紙を除く）・・・5枚
解答用紙・・・2枚
下書用紙・・・2枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で一マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で一マス使用。

[設問] 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい (問1・問2・問3)。

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

出典： 齊藤了文『事故の哲学——ソーシャル・アクシデントと技術倫理』（講談社選書メチエ、2019年）より。

なお問題作成にあたって、一部を改変した。

(注) ジェームズ・リーズン 1938年英国生まれ。心理学者。1997-2001年、英国マンチェスター大学心理学部教授。著書に『組織事故とレジリエンス』『ヒューマンエラー』など。

〔設問〕

問1 下線部(1)「ヒューマンエラーは結果であって、原因ではない」とはどういうことか、本文の叙述に即して100字以内で説明しなさい。 (配点20%)

問2 下線部(2)「人間の『自由意志』を前提にすると、エラーでさえも意図的な行為だと外からはみなされることになってしまう。」とはどういうことか、本文の叙述に即して200字以内で説明しなさい。(配点20%)

問3 下線部(3)「古来からの倫理に即して考えても、自分の行為の責任を引き受けないというのは、奇妙な考え方である。それでも人工物システムの維持がポイントとなる時代では、免責に対する理解を、世間に広める必要があるだろう。」ということについて、本文の内容を踏まえてあなたの意見を400字以内で述べなさい。(配点60%)